

リコール届出一覧表

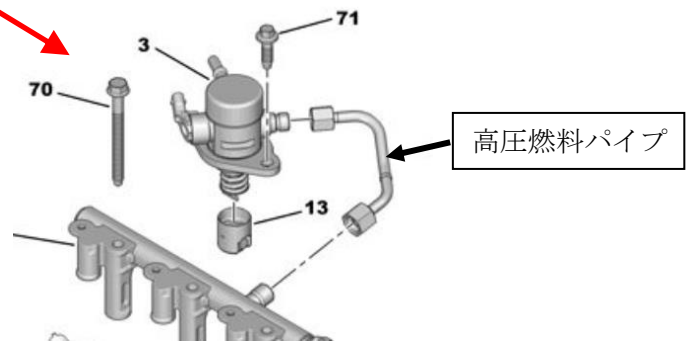
リコール届出日：令和 3 年 6 月 3 日

リコール届出番号	外-3222	リコール開始日：令和 3 年 6 月 3 日		
届出者の氏名又は名称	Groupe PSA Japan株式会社 代表取締役社長 木村 隆之 (製作国： フランス共和国) (製作者名： オートモビル・プジョー) (問い合わせ先： 0120-840-240 プジョーコール)			
不具合部位（部品名）	燃料装置（高圧燃料ポンプ）			
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	高圧燃料ポンプにおいて、製造時の溶接が不適切なため、溶接による金属粉がポンプ内部に残留し、燃圧調整バルブの作動を妨げるおそれがある。そのため、燃料の噴射圧が不足し、警告灯点灯ならびにエンジン始動不良・出力不足になるおそれがある。			
改善措置の内容	全車両、高圧燃料ポンプのシリアル番号を確認し、該当する場合は、高圧燃料ポンプと付随部品（高圧燃料パイプ）を良品に交換する。			
不具合件数	0 件	事故の有無	0 件	
発見の動機	本国からの情報による。			
自動車使用者及び自動車特定整備事業者等に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用者：電話・ダイレクトメールにて通知する。 ● 自動車特定整備事業者：日整連発行の機関誌へ掲載する。 ● 弊社ホームページに掲載する。 			

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び輸入期間	リコール対象車の台数	備考
プジョー	3BA-P21HN05	「208」	VR3UPHNKSLT128209～VR3UPHNKSLT132845 令和2年12月15日～令和3年1月16日	148台	
	5BA-P24HN05	「2008」	VR3USHNSSLJ922142～VR3USHNSSLJ926001 令和3年1月16日	2台	
合計	計2型式	計2車種	輸入期間の全体の範囲 令和2年12月15日～令和3年1月16日	計150台	

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

改善箇所説明図



注： は対策する箇所を示す

不具合の内容

高圧燃料ポンプにおいて、製造時の溶接が不適切なため、溶接による金属粉がポンプ内部に残留し、燃圧調整バルブの作動を妨げるおそれがある。そのため、燃料の噴射圧が不足し、警告灯点灯ならびにエンジン始動不良・出力不足になるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、高圧燃料ポンプのシリアル番号を確認し、該当する場合は、高圧燃料ポンプと付随部品（高圧燃料パイプ）を良品に交換する。

識別

車台番号打刻の上段右側に白ペイントを塗る。